



平成 27 年 4 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社麒麟堂ホールディングス  
代 表 者 名 代表取締役社長 寺 西 豊 彦  
執 行 役 員  
(コード番号 3194 東証第一部)  
取 締 役  
問 合 せ 先 執 行 役 員 小 林 剛 久  
経 営 企 画 部 長  
(TEL. 06-6394-0100 (代表))

### 平成 27 年 2 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 26 年 9 月 24 日に公表しました「平成 27 年 2 月期（平成 26 年 3 月 1 日～平成 27 年 2 月 28 日）」の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 通期連結業績予想の修正（平成 26 年 3 月 1 日～平成 27 年 2 月 28 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 26 年 9 月 24 日)	百万円 104,957	百万円 1,585	百万円 2,074	百万円 597	円 銭 52.69
今回修正予想 (B)	108,033	952	1,437	619	54.68
増 減 額 (B-A)	3,076	△632	△636	22	
増 減 率 (%)	2.9	△39.9	△30.7	3.8	

(注) 1. 当社は平成 26 年 8 月 18 日に単独株式移転により株式会社麒麟堂の完全親会社として設立されたため、前期実績はありません。

2. 当社の連結の範囲については、それまでの株式会社麒麟堂の連結の範囲と実質的な変更はありませんが、従前の決算日が 2 月 15 日であった連結子会社は、当社の決算日が 2 月末日であることに伴い、一旦、決算日を 11 月 15 日に変更した上で、決算日を 2 月末日に変更しております。

以上より、当連結会計年度につきましては、当社は 6 ヶ月 14 日間（平成 26 年 8 月 18 日～平成 27 年 2 月 28 日）、株式会社麒麟堂を含む従前の決算日が 2 月 15 日の連結子会社は 12 ヶ月 13 日間（平成 26 年 2 月 16 日～平成 27 年 2 月 28 日）、決算日が 12 月 31 日の連結子会社は 12 ヶ月間（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日）を連結対象期間とした変則的な決算となっております。

## 2. 修正理由

現在、当社グループは「地域コミュニティの中核となるドラッグストアチェーン」の確立をスローガンに掲げ、商圈内のお客様にとって便利で買いやすい売場づくり、セルフ Medikation の受け皿となる「かかりつけ薬局」としての機能を高め充実させるなど、顧客第一主義の店づくりを推し進めております。

このような方針のもと、当連結会計年度は、既存店活性化のため、ポイントカードのサービス内容の向上及び従来ポイントカード未導入であったサーバ店舗への導入による顧客化の推進、集客を軸とした食品（特に、冷凍食品、日配品）の売場改装を 14 店舗実施いたしました。また、ヘルス&ビューティケア商品のカウンセリング販売、PB 商品の積極的な展開と販売強化による粗利率向上に努めてまいりました。

下期に入り、上期の消費税増税後の反動による客数減に対応するため、雑貨等を中心とした集客施策強化により、上期に比べ客数が増え、雑貨等の売上高は想定以上に伸ばいたしました。粗利率が想定に届きませんでした。一方、ヘルス&ビューティケア商品については、カウンセリング販売に努めたものの、粗利率向上を優先したため NB 商品の売上が伸びなかったことや、年明け以降のシーズン商材（感冒薬等）の苦戦により想定の上高に届かず、雑貨等の粗利率低下に対して、粗利の下支えが足りませんでした。結果、想定の上高と粗利率を下回る見込みとなりました。

さらに、決算期変更（従前の決算日が 2 月 15 日であった連結子会社の決算日を 2 月末日に変更）に伴う影響等から販管費が想定を上回り、営業利益・経常利益はいずれも前回予想を下回る見通しである一方、当期純利益に関しては、特別損失の計上見込額が予想を下回ったことから、前回予想を上回る見通しであります。

- (注) 1. 当社（連結）は、平成 27 年 4 月 14 日に通期決算発表を予定しており、詳細につきましては、決算発表にてご報告させていただきます。
2. 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上